

Hottest PR!

大阪大学で日々生み出される研究成果。このうち、2024年7月から12月末までに公開され、反響（WEB閲覧数や新聞報道等）が大きかったプレスリリース記事をご紹介します。

Research at Osaka University
ResOU

ページビュー TOP5

- 1 積極的勧奨再開も効果薄？
伸び悩むHPVワクチン接種率
このままではWHO目標値の半分に以下に…
34,735 PV
- 2 浄土真宗の戒めが
「ひのえうま」の男女比の歪みを抑えた
歴史学・人口学の仮説を統計的に裏付け
11,961 PV
- 3 SGLT2阻害薬による
腎保護作用の新メカニズムを解明
オートファジー障害を生じる多くの腎疾患への効果に期待
4,430 PV
- 4 中性子、陽子それぞれ3個ずつは
原子核として不安定と実験で証明
自然界の強い力を理解する重要なヒントが得られる
3,540 PV
- 5 全身性自己免疫疾患の発症機構を解明
T細胞によるセルフとネオセルフとの識別能が
原因であることを発見
2,428 PV

新聞等メディア掲載 TOP5

- 1 富士通と産学組織が9者で共創し、
世界初の偽情報対策プラットフォームの構築を開始
報道メディア：朝日新聞ほか16件
- 2 被災地から始まる復興支援と教育活動
大阪大学福島拠点を福島県大熊町に開設
報道メディア：共同通信ほか14件
- 3 数量子ビットの量子コンピュータでも、現行コンピュータを超える速度で実用アルゴリズムを実行する方法を確立
エラー訂正に基づく独自計算アーキテクチャの計算規模を大幅に拡大
報道メディア：NHKほか12件
- 4 有機太陽電池の性能向上に成功！
有機半導体の励起子束縛エネルギー低減に向けた新指針
報道メディア：日刊工業新聞ほか8件
- 5 「受精卵のゲノムから将来を予測するサービス」
に対する技術的・倫理的問題点を提言
報道メディア：時事通信ほか7件

Research at Osaka University
ResOU
Pick Up

2024/12/5

浄土真宗の戒めが 「ひのえうま」の男女比の歪みを抑えた 歴史学・人口学の仮説を統計的に裏付け

大阪大学大学院国際公共政策研究科の石瀬寛和准教授は、その年生まれ的女子を避ける迷信「ひのえうま」伝承について、浄土真宗の影響が強い地域では1846年と1906年の「ひのえうま」世代の男女比の歪みが小さいことを統計的に解明しました。「浄土真宗は嬰兒殺を戒めた」という歴史学・人口学の仮説を裏付けた研究成果です。



[ResOU Web]
http://osku.jp/
NL92_HOTPR

発表直後からSNSを中心に大きな注目を集めました。2026年は60年ぶりの「ひのえうま」。出生数の減少など、人口にどのような影響があるのか注目されています。

報道メディア：大学ジャーナルオンライン（ResOU ページビュー数:11,961PV）

